

令和5年度 校長より ⑤

梅雨の晴れ間に真夏日となった6月13日(火)の午後、マイクロバスに分乗した飯島中学校の保護者42名が学校見学にいっしょにいました。私から冒頭に、本校へは大変真面目で一生懸命で人の気持ちのわかる生徒たちが全県から通っていること、生徒たちは落ち着いた環境の中で自分のペースを保ちながら目標をもって学校生活を送っていること、入学者選抜では第1次選考で学力検査を重点化することとしたが第2次選考を含めれば当落の心配をする必要はないこと、合格をゴールとするのではなく3年間のスタートとの意識をもって本校を受検してほしいこと等のお話をさせていただきました。その後、放送委員会が作成した学校紹介の映像を見ていただき、最後に実際に校舎を回りながら授業の様子や施設の状況を見学していただきました。本校がアピールできる面は沢山ありますが、その一番となるのが生徒の姿そのものだと思っています。中学生やその保護者の皆さんに生徒たちの様子や雰囲気ができる限り知っていただけるように、丁寧に広報活動に努めていきたいと思っています。

体育館に全校生徒が一斉に集まったのは4年ぶりのことです。6月15日(木)に白帆祭(文化祭)の開会式が行われました。委員長の挨拶の後、1年生から順にクラス企画の紹介があり、愉快的PRに会場は大きな拍手と笑いに包まれていました。最後は軽音楽部のテーマ曲演奏で大いに盛り上がりました。16日(金)には校内発表、17日(土)には一般公開と後夜祭が行われました。食販団体の復活やキャッシュレス決済の導入など、昨年度とは違う雰囲気の中で、生徒たちはクラス、部活動、有志での発表を存分に楽しんでいました。自分たちで決めたルールをしっかりと守りながら羽目を外すことなく取り組む姿は、模範的な高校生として美しさと気品ささえ感じました。これこそ大高生の財産であると思います。リーダーシップを取ってくれた「しらほんぶ」、実行委員の皆さん、有難うございました。学校行事の目的はそれを成功に導くことではなく、行事を通して自分たちの学校を自分たちの力でより良くすることです。生徒たちのお陰で、大船高校はまたより良い学校へと一歩進むことができました。今後もこうした積み重ねにより、自分たちの学校の伝統をしっかりと築いていってほしいと思います。

白帆祭2日目が行われている中、全公立展がパシフィコ横浜を会場に4年ぶりに開催されました。私も数名の先生方と出向き、映像や展示物で本校の教育活動の魅力をPRさせていただきました。本校のブースはお陰様で開場から閉場まで中学生とその保護者で溢れかえるほどの盛況ぶりでした。「今まで文化祭を見てきた」「これから文化祭に行く」との方々も多数いらっしゃいました。部活動や授業の様子、通学方法についての質問のほかに、学校選びや入学者選抜に向けたアドバイスを求める声などがありました。入学者選抜選考基準が公表された直後の説明会であったこともあり、本校に対する中学生やその保護者からの注目度が極めて高いとの実感を得ました。皆さんの期待に応えられるように、引き続き本校の教育活動の充実を図るとともに、本校の魅力を皆さんにご理解いただけるように努めて参ります。

令和5年6月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆